

北区医療介護サポートセンター キタールさんからのおたより

NO. 6



発行者：北区医療介護サポートセンター
〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字池ノ内 4-1 箕谷会館 2 F
TEL:078-583-3299 Fax:078-583-3298
Eメール:kita-zaitaku1-c1@siren.ocn.jp
キタールさん：令和4年度神戸市北区キャラクター使用承認 第5号



北区地域包括ケア推進総括協議会 横田会長にインタビュー



北区地域包括ケア推進総括協議会 5ブロック体制の紹介

1 ブロック

(事務局：すずらん病院)
しあわせの村あんしんすこやかセンター
五葉あんしんすこやかセンター
圏域

2 ブロック

(事務局：JCHO神戸中央病院)
鈴蘭台あんしんすこやかセンター
北鈴蘭台あんしんすこやかセンター
圏域

3 ブロック

(事務局：真星病院)
神戸北町あんしんすこやかセンター
谷上あんしんすこやかセンター
圏域

4 ブロック

(事務局：済生会兵庫県病院)
有馬あんしんすこやかセンター
ありのあんしんすこやかセンター
圏域

5 ブロック

(事務局：恒生かのこ病院)
八多淡河あんしんすこやかセンター
道場あんしんすこやかセンター
圏域

地域包括ケアに取り組んで

北区地域包括ケア推進総括協議会 会長 横田治郎

地域包括ケアを考えると、まずは連携ということを考えます。私が北区で地域包括ケアを考えるきっかけは、北区役所の保健福祉部長として赴任した2011年のことです。

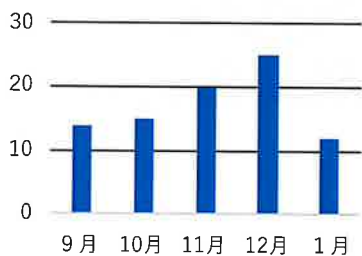
当時医師会との連絡会は6年間なかったので、まずは医師会との連携から始めていきました。3年目に、当時医師会の入江副会長からこれからの北区における地域包括ケアの重要性を何度も説明を受け、3年を残し早期退職し以後北区で活動を続けてきました。入江副会長にはすでに北区を5ブロック分ける総括協議会の構想があり、それを基に2015年に総括協議会が立ち上がり、会長となって実践を積み重ねてきました。

その後、認知症初期集中支援事業、医療介護サポートセンター事業の全市展開が行われ、北区においては地域状況を活かした事業展開を進めてきました。その間、医師会、歯科医師会、薬剤師会等の方々との意見を交わし今に至っています。事業としては、県医師会の在宅医療充実強化推進事業を活用し ①リエゾン事業 ②入退院連携シート北区版 ③認知症対応事例発表会 ④2018年7月の豪雨災害実態調査 ⑤キタールさん手帳作成 ⑥北区お薬気づきシート ⑦認知症施策一覧(様式一覧)作成 ⑧医療・介護等の感染防止連携事業 ⑨在宅における喀痰吸引等支援事業と現場発信の事業を展開。

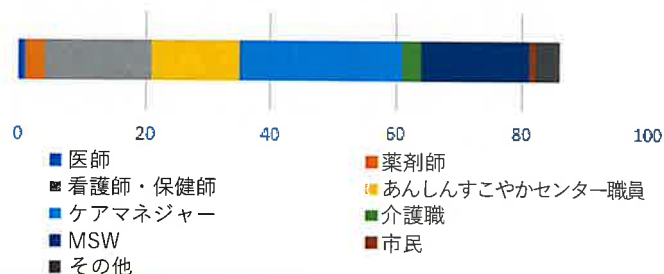
総括協議会の活動報告の場である総会については、3回実施。コロナ前の第2回ではフルーツフラワーパークにおいて330名の参加者を迎え、裾野の広がりを実感しながら北区の様々な取り組みを発表してきました。

これらに加え、2021年からは地域小児在宅医療促進支援事業が加わり医療・教育・福祉が連携して在宅障がい児の支援に関わっています。地域包括ケアは、高齢者だけでなく小児、障がい等地域で暮らすすべての方を支えていくものとして、北区ではその実践が行われています。

相談件数



相談先職種別



★相談内容★

令和4年9月～令和5年1月までの相談件数は86件でした。12月はコロナ感染急拡大に伴い、コロナ関連の相談が増えました。また現在、深刻なケアマネジャー不足による相談も増加しています。その他相談内容は多岐にわたりますが、相談内容に沿った関係機関の紹介や医療介護資源情報を基に情報提供を行っています。

★研修報告★

令和4年12月12日「北区の救急搬送の現状について」

Zoom開催でしたが、77名の方が参加されました！研修前半は神戸市消防局 北消防 北救急隊 消防士長 柴山 拓哉氏より北区の救急搬送の現状について資料を基にお話し頂き、後半では多職種交流を目的としたグループワークを行いました。各職種の立場から見た救急の現状を話され、活発な意見が飛び交っていました。特に救急隊員の方々と顔が見える関係を作り、話し合えたことは、今後救急現場の多職種連携を促進させる良い機会になったと思います。アンケート調査の結果では88.6%の方が、研修に満足した・やや満足したとお答え頂きました。今後も多職種間の交流機会を増やし、地域連携を促進していきたいと考えています。

令和4年12月21日「家でできる！フレイル予防について」

コロナ禍により、フレイルに陥る方が増加しています。日々高齢者フレイル状態の方と関わりが多い介護従事者向けに、フレイル予防について理解を深め、家でできる体操や取り組みについての研修会を行いました。講師には神戸市リハ職種地域支援協議会 伊藤 弘氏より、セルフリハビリプログラムに沿って、実際に体験しました。体験してみると、高齢者に関わらず、どの世代もコロナ禍により外出自粛を余儀なくされ、筋力低下が著しい状況であることを身に染みて感じる事が出来ました。コロナ禍により通所サービスの利用を控える方が増え、フレイルが進み、要介護状態になってしまった方もいました。そのような方々にセルフリハビリ方法を伝えていくことで、フレイル予防に関心を持って頂ける人が増えればと思います。

★今後の予定★

令和5年度も引き続き「ACP」と「ICT」を軸に取り組んでいきたいと考えています。今後も様々な研修を計画しております。研修案内は案内文を配布又は医療介護サポートセンターのホームページで確認することができます。是非、ご参加下さい！

令和5年度は北区医師会設立50周年を迎えます。9月2日（土）ホテルオークラ神戸で「北区の地域包括ケア」をテーマに活動報告やこれからの北区についての意見交換会を開催予定です。

★箕谷会館★

箕谷会館は1階が北部休日急病診療所です。

2階には北区医師会・北区歯科医師会・北区薬剤師会が入っています。

北区医療介護サポートセンターは2階です。

場所は箕谷インター近く。スーパーマルハチ箕谷店南向かいです。

